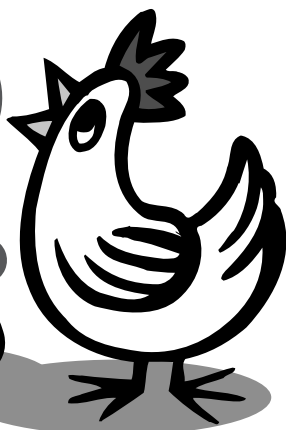


サンプルで学ぶ  
VB.NET



瀬戸 遥 SETO, Haruka  
<http://www.big.or.jp/~seto/>  
<http://hp.vector.co.jp/authors/VA006682/>

# Visual Basic .NET コッコ 倶楽部

第17回

## デスクトップ用のメモプログラムを作ろう



### デスクトップにペタペタ付箋を貼り付ける!

今月は、デスクトップに貼り付ける付箋風メモプログラムを作成してみます。

フリーソフトでもこの手のタイプのプログラムはいろいろと出回っていますが、今回作成するプログラムは、シンプルにメモだけを入力/表示します。題して「ペタペタメモ」(図1)。

詳細は後述しますが、フォームにTextBoxを配置し、フォームとTextBoxを一体化させています。また、ContextMenuStripを使用して、マウスの右クリックでコンテキストメニューを表示するようにします。

プログラムの作成は特に難しくありません。だれでも簡単にできます。具体的には、以下の機能を実装します。

**機能1** フォームと一体化したTextBoxに文字列をメモとして入力できる

**機能2** マウスの左ボタンを押しながらドラッグして、デスクトップ上のどの位置にも移動できる

**機能3** マウスを右クリックしてコンテキストメニューを表示させ、そこから「文字の消去」「メモの重要度の設定」(文字色と背景色の変更)「プログラムの終了」の各操作を選択する

なお、フォームのインスタンス作成に制限を設けず、いくつもペタペタメモをデスクトップに配置できるようにしています。

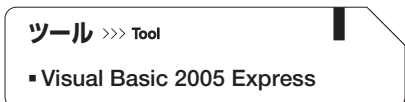
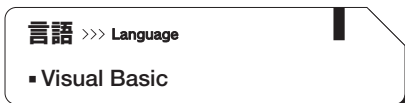
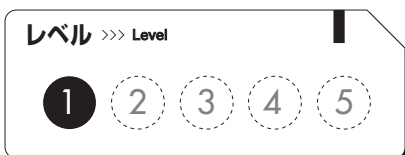
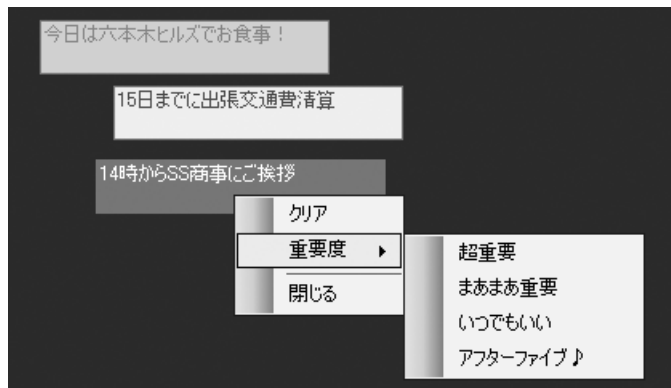


図1: 今回作成する「ペタペタメモ」





## フォームとTextBoxを一体化させる

ペタペタメモで使用するコントロールは、TextBoxとContextMenuStripの2つです。ポイントは、フォームとTextBoxを一体化する点です。

まずはフォームに2つのコントロールを配置してみましょう (図2)。

次に、各コントロールのプロパティ設定について解説します。

### テキストボックスの設定

Dockプロパティを「Fill」に設定し、フォームとTextBoxを一体化します (図3)。また、Multilineプロパティを「True」に変更し、複数行編集できるようにしておきます。

### フォームの設定

フォームでは、FormBorderStyleプロパティを「None」に設定して枠線だけにし、付箋っぽくなるようにフォームのサイズを少し小さくしておきます (図4)。

### ContextMenuStripの設定

ContextMenuStripコントロールを選択すると、自動的にメニューの項目名を入力する画面になりますので、「ここへ入力」に表1のメニュー項目を入力します (図5)。区切り線を挿入するには、メニュー編

表1: コンテキストメニューの各項目

第1階層	第2階層
クリア	-
重要度	超重要
	まあまあ重要
	いつでもいい
	アフターファイブ♪
(区切り線)	-
閉じる	-

図5: 第2階層から構成されるコンテキストメニュー

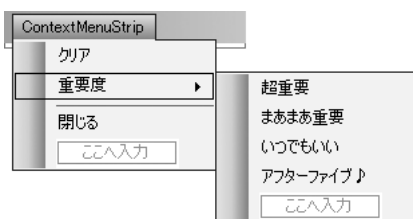


図2: TextBoxとContextMenuStripをフォームに配置

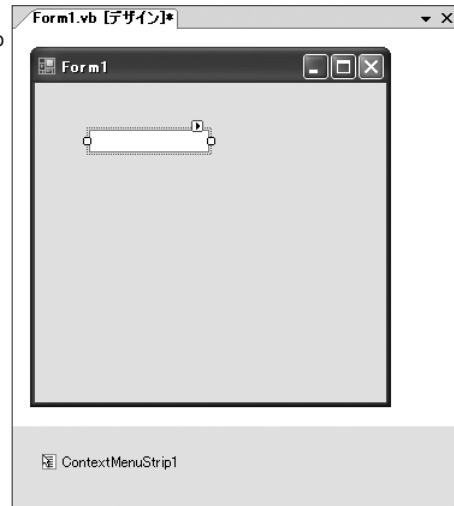


図3: フォームとTextBoxを一体化したところ

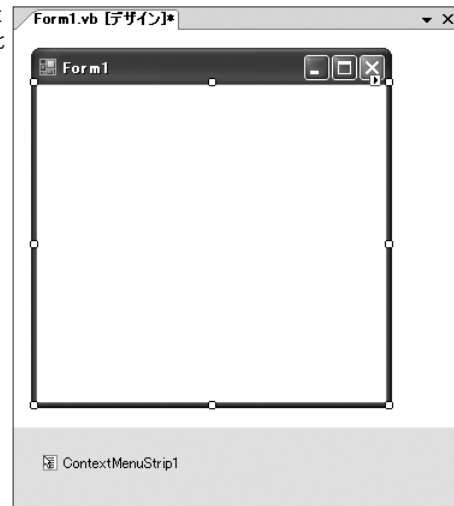


図4: 付箋風に見せるためにフォームサイズを小さめに変更

